



日本の貿易

1 はじめに

人口が多い割合に領土の狭いわが国では、広々とした耕地を必要とするしかも生産性の低い農業よりも、それほど土地を必要としない、そして生産性の高い工業によつて活路をみいださなければなりません。池田内閣の打出した所得倍増計画にともなう、農業人口の工業への移動を図るためには、国内需要を高めることも一つの方法といえましょうが、わが国の国民のふところ具合ということを考えれば、それには自から限界があるのではないかと思います。それではどうして工業を発展させるかということになりますと、やはり勤勉なる国民性と生れつきの器用さを生かして、原材料を輸入し、これを加工して製品を輸出するという、貿易に頼るほかないと考えられます。

昨年来から貿易の自由化について各方面において論じられており、とりわけ企業としては、喰うか、喰われるかの大きな関心を寄せている問題でしょう。私達もここで統計が示している日本の貿易の姿を、もう一度見直しておくことも無意味ではないと思いますので、昭和36年の日本の貿易をいろいろの角度から眺めてみよう。

2 輸出総額42億3千5百万ドル

昭和36年のわが国の輸出総額は再輸出を含めて4,235百万ドルで、35年にくらべ182百万ドルの伸を示している。これを10年前の27年の1,273百万ドルと比較してみると、10年間に3.3倍になり素晴らしい伸長ぶりです、この面でも日本が戦後大きく成長したことがうかがわれます。

輸出先のトップは北アメリカで1,187百万ドル輸出総額の28%を占めている。これに続くのは東南アジアの643百万ドル、西ヨーロッパ548百万ドルであり、東ヨーロッパ、ソ連、中国等共産圏諸国との貿易は103百万ドルで、今後の進出が期待されるところであります。

輸出製品の主なものは原料別製品1,832百万ドル、機械類および運搬用機器類1,119百万ドル、雑製品621百万ドルなどです。

3 輸入総額 58億8百万ドル

輸入総額は5,808百万ドルで、輸出総額4,235百万ドルに対して1,573百万ドルの輸入超過となつている、この原因はいろいろ考えられると思われませんが、昨年のわが国

経済が、所得倍増計画にともない生産設備の拡充強化による設備投資の増加が顕しく、このような大巾な輸入超過を示したものと思われま

す。輸入の41%にあたる2,363百万ドルを北アメリカから輸入している、輸出と同様輸入においてもトップを占めている。これからみると北アメリカは、日本にとつても相手国にとつても大の得意先であるようです。

第2位はずつと低くなつて東南アジア627百万ドル、次いで西ヨーロッパ559百万ドルという順になつております。

輸入品目別には原材料が2,747百万ドルで総額の47%を占めており、これに次ぐのは鉱物性燃料潤滑油など931百万ドル、食糧639百万ドル、機械類および運搬用機器類599百万ドルというようになつております。

4 各国との貿易

それでは次に各国との間にどのような取引が行なわれているかを、主な国について調べてみよう。アメリカからは、くり綿930億円、くず鉄982億円、大豆439億円、石炭397億円の他小麦、重油、機械等総額7,486億円を輸入して、衣類313億円、魚介類229億円、鉄鋼材249億円の他玩具、陶磁器、生糸等総額3,783億円の輸出をしているが差引3,703億円の輸入超過となつていることは注目されます。

アメリカに次ぐ二番目の得意先は取引金額は少なくともありますが、インドネシアと香港でそれぞれ550億円台で、綿織物、鉄鋼材、機械等が輸出されている。また輸入ではオーストラリアからの1,626億円が目立っていますがこの内訳は原羊毛966億円、綿織物122億円、小麦81億円で、そのほとんどが原羊毛であり、これは日本の原羊毛輸入額1,171億円の82%にあたります。

5 むすび

以上日本の貿易についてその概況を眺めてまいりましたが、まだまだ日本に近いところにある、中国や東南アジアとの貿易を盛んにする必要があるようです。そして現在進められている貿易の自由化という時代の流れにそつて、生産設備の近代化と生産技術の革新とを図り、新しいアイデアによつて生み出される、日本の商品が、外国の商品と、値段と質の点で海外市場での激しい競争に耐えて、どんどん外国に進出して行くことを望んでやみません。(編集部)

主 要 国 別 輸 出 入

(単位 億円)

国 名	輸 出	輸 入	輸 出 超 過	輸 入 超 過
韓 国	453	81	372	—
琉 球 列 島	410	118	292	—
香 港	553	87	466	—
中 国 (台湾)	347	244	103	—
中 国 (本土)	60	111	—	51
ベ ト ナ ム	253	60	193	—
タ イ	482	282	200	—
マ ラ ヤ	111	718	—	607
シ ン ガ ポ ー ル	366	89	277	—
フ イ リ ッ ピ ン	461	561	—	100
英 領 ボ ル ネ オ	11	267	—	256
イ ン ド ネ シ ヤ	557	312	245	—
ビ ル マ	188	41	147	—
イ ン ド	400	399	1	—
パ キ ス タ ン	186	104	82	—
セ イ ロ ン	119	37	82	—
イ ラ ン	151	159	—	8
イ ラ ク	65	189	—	124
サ ウ ジ ア ラ ビ ア	70	464	—	394
ク エ イ ト	94	861	—	767
ソ 連	235	523	—	288
オ ー ス ト ラ リ ア	361	1,626	—	1,265
南 ア 連 邦	177	293	—	116
エ ジ プ ト	80	63	17	—
イ ギ リ ス	413	494	—	81
西 ド イ ツ	300	695	—	395
カ ナ ダ	420	957	—	537
ア メ リ カ	3,783	7,486	—	3,703
ブ ラ ジ ル	310	221	89	—
ア ルゼ ン チ ン	149	234	—	85
ベ ネズ エ ラ	105	8	97	—
そ の 他 の 国	3,576	3,125	451	—
合 計	15,246	20,909	—	5,663